

自分の体力について知る～新体力テスト～ 5月25日

自分自身の体力の現状について知り、よりよい運動習慣を見直すことを目的として「新体力テスト」を実施しました。2年生以上は、去年の記録と比較することで、自分の成長を把握することができます。その中で、課題が見られる種目については、日頃の運動生活の中で改善していくことが大切です。1年生については、初めての実施となりました。体育の時間に種目の測定方法を練習し、本番を迎えました。全国的な平均値や京都府下の記録と比較すると、全校的に体力的な課題も見られます。体育の時間はもちろん、朝マラソンや朝なわとびといった取組を継続的に進めていきます。また、外で遊ぶことを呼びかけ、遊びを通して体力向上が図れるようにしていきたいと思えます。個人の結果については、1学期末に「けんこうのきろく」カードを通じて、お知らせします。



測定種目

- ① 50m走
 - ② ソフトボール投げ
 - ③ 立ち幅跳び
 - ④ 長座体前屈
 - ⑤ 反復横跳び
 - ⑥ 上体起こし
 - ⑦ 握力
 - ⑧ 20mシャトルラン
- ※⑦と⑧については、別日に測定します。

5年 田植え体験 5月24日

久田美営農組合の方にお世話になり、岡田小学校の5年生と一緒に田植え体験を行いました。裸足で入る田んぼの感触を味わいながら、苗を線に沿って植えていきました。初めは戸惑っていた子どもたちも徐々に作業に慣れ、手際よく植えることができました。いただいた苗を学校でも育てる予定です。



全国学力・学習状況調査



6年生を対象に、学力テストを実施しました。実施科目は、国語と算数の2教科です。それと合わせて、生活や学習習慣に関するアンケートも実施しました。今後、結果を分析し、課題克服に向けた取組を行うとともに、授業改善に役立てていきます。

拡大なかよし班活動

中止となったなかよし遠足のかわりに、校内で全校遊びやなかよし班遊びをして過ごしました。児童会本部や6年生は遊びの計画を入念に考え、新しいなかよし班の仲間との楽しい出会いの場を盛り上げることができました。また、楽しみのひとつでもあるお弁当も体育館でみんなで食べました。できる範囲の中で、アイデアを出し合い、楽しく過ごそうとする子どもたちの姿に感心しました。

第1回クラブ活動 5月13日

4・5・6年生の児童が自分の趣向に応じたグループに分かれてクラブ活動に取り組みます。6年生を中心に計画を立て、計6回の予定で行います。

- | | |
|------------|-------------|
| 第2回 6月10日 | 第5回 11月18日 |
| 第3回 7月8日 | 第6回 12月9日 |
| 第4回 10月28日 | ※現時点での予定です。 |

☆スポーツクラブ



☆文化クラブ



由良川小学校ホームページ <http://yuragawa-es.maizuru.ed.jp>

☆子どもたちの活動の様子などを紹介しています。ぜひ、アクセスしてみてください☆

ご支援いただく先生方

子どもたちの学習支援や教育相談など、それぞれの立場で支援していただく先生方です。今年度、1年間よろしくお願ひいたします。

スクールカウンセラー
ALT(外国語)
ジュニアわくわくスタディ
まなび・生活アドバイザー
ICTサポーター



由良川っ子のがんばり

6年

5年生の時に書いた作文をラジオのFMまいづるの番組内で朗読しました。身近なことから環境問題について考えた作文でした。



6月は、いじめ防止対策強化月間

いじめは、どの子にもどの学校にも起こり得るという考えのもと、本校では、「由良川小学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめにつながる事象の未然防止、早期発見・早期対応を行うための取組を行っています。

地域・保護者の皆様も子どもたちのことでお気付きのことがございましたら、学校までご連絡ください。

6月は「いじめ防止対策強化月間」として、重点的に取り組みます。

【主な取組内容】

- いじめ調査(アンケート)の実施
- 全員面談(個別)の実施
- 全校集会による校長講話
- 「いじめのサイン発見シート」「いじめ相談室啓発カード」の配布
- 道徳の授業を中心とする心の教育の充実
- 児童相互のつながりを育む活動の充実
- 校内研修等による教職員の指導力向上

害虫・生き物は世界にとって大事

ぼくは、これまで総合的な学習の時間で農家さんが困っている害虫のことについて調べてきた。すると、本当に害虫は絶滅していいのかという疑問がでてきた。調べてみると、もし害虫と言われていたバッタ類が絶滅すると自然界にとって悪いいきょうを与えるということが分かった。たとえばバッタ類がいなくなると、身の回りで草がいっぱいになってしまう。するとみんなが困ってしまう。また、バッタを食べる虫も食べる物がなくなってこちらも絶滅してしまう。すると、自然のバランスがこわれてしまう。農家さんにとって害虫はいらないけど、自然界で考えると大切な存在だと考えた。

具体的にこのような事例が報告されている。アメリカではオオカミが絶滅したため、草食じゅうが増えすぎて、田畑をあらずひ害が大発生したようだ。そのときは、別の地域からオオカミをどう入することによって草食じゅうが増えすぎることを防いだそうだ。

ぼくはやはり、どの生き物も大切だと考えた。二つの例から考えてみると、今自然に生きている生き物や虫がいるから、自然界のバランスが保たれている。その虫たちが絶滅してしまうと、バランスがこわれてしまい、それは人間にも悪いいきょうをおよぼすことになる。

このように害虫はくじよされるべきものだと思っていたけど、自然全体で考えてみると、全ての生き物はつながっているのだとあらためて思った。地球きぼで考えてみると、全ての生き物はつながっており全ての生き物がすごせる地球が大切だと思った。

タブレットを使って、どんな学びができるか？！

これまでもお知らせをしているように、タブレットを授業の中で活用する場面が増えてきました。子どもたちは、どんどんと扱い方に慣れ、その便利さを実感しているようです。そこで、より効果的な使い方をしていくために職員の研修も行っています。ただ、インターネットを使って調べものをしたりカメラ機能で写真をとったりするだけでなく、子どもたちが深く考え、新たな発見ができるためのよりよい活用方法について、これからも学んでいきたいと思ひます。



お知らせ

PTA資源回収を下記のとおり延期させていただきました。保護者、地域の皆様には、ご準備いただいていたことと思ひますが、ご理解のほど、お願ひいたします。

なお、8月の実施の際には、改めてたくさんのご協力をいただきますよう、重ねてお願ひ申し上げます。

【延期前】 5月23日(日)



【延期後】 8月28日(土)

各地域での回収方法などの詳細については、後日、改めてお知らせをいたします。



アルミ缶の常時回収について

アルミ缶については、由良川小学校にて常時回収を行っております。校門付近に置いてある回収袋に入れていただければ結構です。ぜひ、たくさんのご協力をお願ひいたします。

